

《評価基準》A:目標を達成することができた(100%以上)
 B:目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C:目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%)
 D:目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	3年度		実績	評価 R2	評価 R3
		目標	実績			
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域内経済動向調査の実施	2	12	新型コロナ影響調査を8社対象に実施(4月から毎月)	A	A
	②各種資料を活用した経済動向調査	2	2	新型コロナウイルス感染症影響、PayPay還元事業調査	B	B
	③地域公共団体・金融機関との情報交換会の開催	2	7	町、金融機関との個別情報交換実施	A	A
2. 経営状況の分析に関すること(指針①)	①基礎的経営データの収集と簡易分析	50	51	ネットde記帳委託先のデータ収集と簡易分析実施	A	A
	②SWOT分析等詳細な経営分析	20	35	持続化5、創業6、経営力向上3、先端設備1、事業再構築4、事業承継16	A	A
	③専門家派遣による分析支援	5	5	5社10回巡回派遣	A	A
3. 事業計画策定支援に関すること(指針②)	①事業計画策定セミナーの開催	1	8	創業塾5回、ITセミナー2回、個別相談会1回開催	A	A
	②事業計画策定支援	13	19	持続化5、創業6、経営力向上3、先端設備1、事業再構築4	A	A
	③事業承継セミナーの開催	1	1	県事業承継引継支援センター個別指導で1件支援	A	A
	④事業承継計画策定支援	2	20	県事業承継引継ぎセンター16、親族内承継2、法人化等1	A	A
	⑤創業塾の開催	5	5	創業塾(5回)を開催。受講者11人、出席率75%以上	A	A
	⑥創業計画策定支援	2	3	町創業補助金申請支援3人のうち、創業塾受講者1人	A	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること(指針②)	①事業計画策定後の定期的なフォローアップ	52	57	計画策定後19社を定期的(3回~)に巡回フォロー実施	A	A
	②事業承継計画策定後のフォローアップ	8	16	計画策定後4社を定期的(4回)に巡回フォローを実施	A	A
	③創業計画策定後のフォローアップ	12	15	計画策定後に3人を定期的フォロー実施。6回2人、3回1人	A	A
5. 需要動向調査に関すること(指針③)	①新商品アンケート調査及びテストマーケティング	3	3	会内試食会1件、新年交賀会テストマーケティング1件	D	A
	②飲食店における需要動向調査	5	4	観光協会主催「カレーがさきスタンプラリー」アンケート収集、強化支援事業所4件	C	B
	③首都圏バイヤーに対する需要動向調査	2	2	千葉県幕張開催スーパーマーケットトレードショー出展1社	D	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること(指針④)	①商談会への参加による需要動向調査	3	2	いわて食の商談会in仙台出展1社、Web商談会	D	B
	②ECサイトを活用した販路開拓・拡大の支援	3	13	ITセミナーで実際にECサイトやアプリの活用支援	C	A
	③町内飲食店・小売店のIT活用による需要開拓	1	2	IT活用講習会(2回)を実施。受講者13人、延24人	A	A

II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	3年度		実績	評価 R2	評価 R3
		目標	実績			
1. 地域の経済動向調査に関すること(指針③)	①地域経済活性化のための検討委員会の設置	2	2	町観光協会主催で金ヶ崎桜まつり実行委員会、夏まつり実行委員会参加	A	A
	②「金ヶ崎オーワングランプリ」の継続と需要拡大	10	のべ37	代替イベント、駅マーケット出店者支援	D	A
	③観光資源の掘り起こしと観光ルートの開発	2	2	東北DCに向けた連携会議等で観光コース等造成へ協力	A	A

III 経営発達支援事業の円滑な実施支援に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	3年度		実績	評価 R2	評価 R3
		目標	実績			
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①地元金融機関との連携	2	2	町、金融機関との個別情報交換実施	A	A
	②近隣地域の商工団体との情報交換	2	2	公庫マル経の6月協議会、10月説明会にリモート出席	A	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	①研修会参加による資質向上	5	5	リモート開催での研修会に参加	A	A
	②OJTによる取組	1	1	広域指導員との連携により、1件の支援実施	A	A
	③職員全員による支援ノウハウの共有	12	12	月1回定例で支援職員のミーティングを実施	A	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	2	2	委員会2回開催	A	A
	②総務委員会、理事会での進捗状況の確認と検証	4	12	総務委員会5回、理事会7回で確認と検証を実施。	A	A
	③職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	実行会議(職員で構成)で12回で確認と検証を実施。	A	A